

講習の名称：声楽発声の基礎

担当講師：吉田 秀文（教育学部教授）

講習開講日：令和2年8月19日（水）

時間数：6時間

主な受講対象者：音楽担当に限らず、歌唱法や発声法に興味・関心のある小・中・高等学校教諭

キーワード：音楽、歌唱、合唱、指導法

講習の概要：主に小学校、中学校、高等学校における歌唱指導の発声法習得に向けて、その目指す方法について講義し、実際に体験を通して考察します。講習では声楽発声に関する理論的諸観点について解説した後、声楽発声のための体操や歌唱実技を実際に行います。動きやすい服装（ジーンズのように腹部が締め付けられるようなものは避ける）で臨んでください。また、床に敷く敷物（身長大のもの）をご持参ください。

講習の展開：

- 第1時限 声楽発声の研究における現状と課題  
— 声楽発声の理論的基礎について —
- 第2時限 音楽教育における声楽発声の現状と課題  
— 学習指導要領や検定教科書の分析から —
- 第3時限 声楽発声の実践①— 基本的な声楽発声のための体操演習 —
- 第4時限 声楽発声の実践②— 伸びやかな歌唱表現の工夫に向けて —

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

実際に体操などを行うため、動きやすい服装で臨んでください。

講習内容のレベルは受講者の理解度をみながら進めて参ります。

授業の形式：講義形式、演習形式。

履修認定試験：

論述形式の筆記試験を行います。筆記試験では講義、演習を通して声楽発声全般についての理解度等を問います。なお、歌唱実技の到達レベルでの評価は行いません。

テキスト・参考文献：

参考文献として

萩野仁志、後野仁彦、「『医師と声楽家が解き明かす』 発声のメカニズム」、音楽之友社、2006年。

Frederick Husler and Yvonne Rodd-Marling、須永義雄、大熊文子訳『うたうこと』、音楽之友社、1985年。

米山文明「声の呼吸法—美しい響きをつくる」、平凡社、2011年

ほか